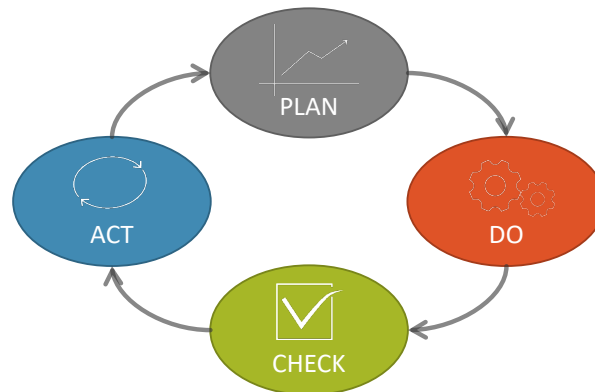


## 第7章 計画の進捗管理

### 1. 進捗管理の考え方

進捗管理の方法としては、PDCA サイクルにより定期的な点検・評価を行います。

【PDCAサイクルのイメージ図】



「Plan=計画」

目標を設定し、目標達成のために何をすべきか仮説を立て、プランニングすることです。何をするのか・誰に対してするのか・なぜするのか・どのくらいの量を行うのか・いつまでに行うのかなど基本の5W1Hを更に詳しく分解して考えていきます。

「Do=実行」

計画をもとに実行することです。計画したことを意識し、結果が分かるように、時間を測る・数を数えるなど数字を付けることが大切です。

「Check=評価」

計画に沿った実行が出来ていたのかを検証することです。実行した結果が、良かったのか悪かったのかを判断します。その時に、実行で述べた数字を付けておくことで具体的根拠があるので検証の正確性が増します。

「Act=改善」

検証結果で見えた、課題の解決策を考え改善することです。実行した結果、この計画を続けるか・止めるか・改善して実行するかなどを、この段階で考えます。この時に、次のサイクルの「Plan」を意識して考えることが重要なポイントです。

## 2. 進捗管理の方法

### (1) 本計画に定めた数値目標達成状況の評価

本計画において定めた数値目標の達成状況を毎年度検証し、発見された課題について改善を図ります。

### (2) 学校評価の活用

学校は、学校評価等を通して自校の教育活動等の成果を検証し、学校運営・活動の改善につなげていく必要があります。

中央市のすべての学校は、学校評価（自己評価、関係者評価等）を行い、学校の取組を点検・評価し、教育委員会に報告するとともに保護者等にも公表します。

教育委員会は学校評価の結果を精査し、学校の成果と課題を理解し、必要な指導や助言を行うとともに、本計画の進捗状況の把握と見直しに活用します。

## 3. 教育委員会の事務点検及び評価

毎年教育委員会の事務の執行の状況について、本計画に基づき点検と評価を行い議会へ報告するとともに、広報紙やホームページ等で公開します。